

# 国内石油天然ガスに係る地質調査・メタンハイドレートの研究開発等事業

## 令和6年度概算要求額 263億円（273億円）

### 事業の内容

#### 事業目的

日本周辺海域に一定の資源量が期待される在来・非在来型の石油・天然ガスを安定的なエネルギー資源として利用可能とするため、海洋基本計画等に基づき、資源量等調査、技術開発等を実施する。

#### 事業概要

##### (1) 国内石油天然ガス基礎物理探査

日本周辺海域の未探鉱地域等において、三次元物理探査船等により、石油・天然ガス等のポテンシャルを把握するための調査を行うとともに、調査データの公開を通じて、我が国企業による探鉱開発活動に向けた取組を促進する。

##### (2) 国内石油天然ガス試錐支援

石油・天然ガスの存在や地質構造等を具体的に確認するため、民間企業が自ら実施する掘削調査に対し、探鉱リスクに応じて経費の一部を支援する。

##### (3) メタンハイドレートの研究開発

日本周辺海域に相当量の賦存が期待されるメタンハイドレートについて、我が国のエネルギー安定供給に資する重要なエネルギー資源として、将来の商業生産を可能とするための技術開発を行う。

### 事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）

#### (1) 国内石油天然ガス基礎物理探査



#### (2) 国内石油天然ガス試錐支援



#### (3) メタンハイドレートの研究開発



### 成果目標

物理探査を年間約5千km<sup>2</sup>、令和10年度までに概ね5万km<sup>2</sup>実施する。また、試錐支援を機動的に実施する。

メタンハイドレートについては、民間企業が主導する商業化に向けたプロジェクトが令和12年度までに開始されることを目指す。